

令和8年度補正予算（案）の概要 （令和8年6月定例会提出）

1 総括

（単位：千円）

	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	42,039,670	101,460	42,141,130
特別会計	28,805,180	－	28,805,180
公営企業会計	11,433,410	－	11,433,410
特別会計	17,371,770	－	17,371,770
総 額	70,844,850	101,460	70,946,310

2 補正予算の主な内容

(1) 一般会計（第1号）

（単位：千円）

補正前の額	補正額	補正後の額
42,039,670	101,460	42,141,130

① 歳入

（単位：千円）

款名	項目	補正額	備考
国庫支出金	就学前教育・保育施設整備交付金	45,594	[民生費]私立認定こども園移行改修費支援事業費補助金
	子ども・子育て支援事業費補助金	10,570	[民生費]放課後児童クラブDX推進事業費
	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金	19,569	[教育費]体育施設整備事業費（再生可能エネルギー設備等導入分）
繰入金	財政調整積立金繰入金	5,027	
諸収入	雑入（一般財団法人自治総合センターコミュニティ助成事業助成金）	2,500	[農林水産業費]森林整備推進事業費補助金
市債	民生債	18,200	[民生費]私立認定こども園移行改修費支援事業費補助金
計		101,460	

② 歳出

(単位：千円)

款名	事務・事業名	補正額	備考	主な事務 事業調
民生費	拡大 私立認定こども園移行改修費 支援事業費補助金	68,390	私立幼稚園が実施する認定こども園化 に向けた認可・開設に必要な施設 整備に対する補助	P1
	新規 放課後児童クラブDX推進事 業費	10,570	各放課後児童クラブへのネットワーク 環境の整備及び利便性向上を図るシス テムの導入	P2
農林水産業費	新規 森林整備推進事業費補助金	2,500	複数の団体で使用する森林整備用機械 の購入に対する補助	P3
教育費	拡大 体育施設整備事業費（再生可 能エネルギー設備等導入分）	20,000	伊佐津川運動公園ヘナイター設備の導 入に向けた調査・設計業務に係る経費	P4
計		101,460		

3 令和8年度末の基金残高、市債残高の見込み

(1) 基金残高

(令和8年度末見込み額)

(単位：千円)

区分	補正前見込み額	補正額	補正後見込み額
一般会計	※ 9,911,468	△ 5,027	9,906,441
特別会計	521,131	—	521,131
計	10,432,599	△ 5,027	10,427,572

※ 補正前見込み額は、当初予算額に令和7年度一般会計補正予算（第10号）の見込額を反映させたものです。

(2) 市債残高

(令和8年度末見込み額)

(単位：千円)

区分	補正前見込み額	補正額	補正後見込み額
一般会計	※ 32,607,640	18,200	32,625,840
建設地方債	22,529,971	18,200	22,548,171
臨時財政対策債等	10,077,669	—	10,077,669
特別会計	29,657,092	—	29,657,092
計	62,264,732	18,200	62,282,932

※ 補正前見込み額は、当初予算の市債残高見込額に令和7年度債の借入額等を反映させたものです。

令和8年度 主な事務事業調

No. 1

事業名	私立認定こども園移行改修費支援事業費補助金					
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉措置費
事業費	68,390 千円			予算書	8 頁	
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続	

事業の目的	<p>「幼保連携型認定こども園」への移行を目指す私立幼稚園に対して、認定こども園の認可・開設に向け必要な施設整備費を支援することにより、円滑な移行を推進するとともに、新たに「3号認定子ども（0歳児～2歳児）」の受け入れが可能な体制を整備・促進することにより、待機児童ゼロの堅持及び子育て環境のさらなる充実を図る。</p>
事業の内容	<p>【対象施設】 学校法人池内学園 池内幼稚園（字布敷）</p> <p>【工事内容（予定）】 園舎の新築移転工事 新園舎の施設規模等：木造平屋建、延床面積 659.99㎡ 建設事業費（補助対象事業費）：約3億396万円 うち、令和8年度執行予定額：約9,118万円 工期：令和8年7月～令和10年3月（予定） 令和8年度 設計業務、園舎整備工事 令和9年度 園舎整備工事</p> <p>【負担割合】 国：1/2、市：1/4、事業者：1/4</p> <p>【移行後の利用定員等】 令和10年4月に幼保連携型認定こども園として開園予定 移行後の利用定員（見込み） 教育標準時間認定（1号） 35人 保育認定（2号・3号） 65人（うち、0～2歳児 23人） 計100人 （参考）令和8年4月1日現在の在園児数 122人</p>

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	45,594	就学前教育・保育施設整備交付金（1/2）	7
	府支出金	-		
	地方債	18,200	児童福祉債	7
	その他	-		
一般財源		4,596		

担当課	乳幼児教育推進	課	課長名	井上 正彦	内線番号	6271
-----	---------	---	-----	-------	------	------

事業名	放課後児童クラブDX推進事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 子育て支援費
事業費	10,570 千円			予算書	8 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的

市内29か所の放課後児童クラブにおいて、ネットワーク環境、勤怠・給与管理システム、利用者負担金のキャッシュレス決済を導入することで、業務プロセスの見直しを図る。これにより保護者の利便性向上を図るとともに、児童クラブ支援員の事務負担軽減により、児童の見守り時間を安定的に確保し、「安全・安心なこどもの居場所づくり」に専念できる環境を整備する。

事業の内容

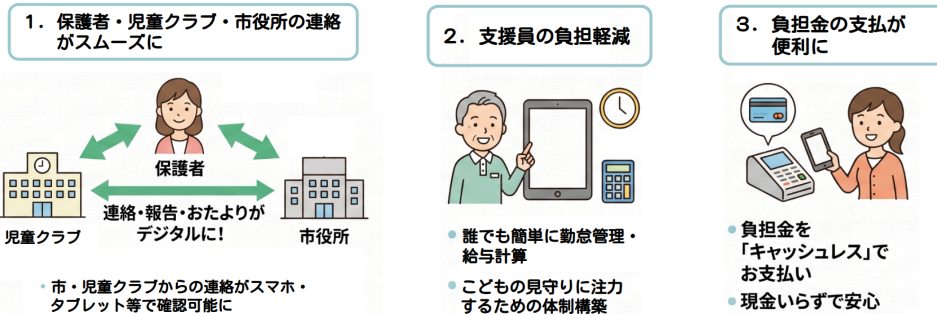
【実施内容】

『放課後児童クラブまるっとDX事業（愛称）』

～誰もが簡単に操作できる連絡・勤怠・利用者負担金徴収システムの導入～

- ◆地域協議会委託26クラブへのネットワーク環境整備及びシステム導入
- ◆法人委託3クラブへのシステム導入
- ◆保護者・児童クラブ・市の三者間の連絡や情報共有を行うツールの導入
- ◆デジタル機器に不慣れな支援員でも容易に操作できる勤怠・給与ツールの導入
- ◆利用者負担金徴収ツール導入によるキャッシュレス化

↳ 「安全・安心なこどもの居場所づくり（見守り・声掛け等）」に専念できる環境を整備



【実施スケジュール】

令和8年度中・・・システム導入、操作研修、実証（伴走支援等を含む）開始

令和9年度～・・・全クラブでの本稼働開始

※当該事業は国の「放課後児童クラブ利用手続き等に関わるDX推進実証事業」として、舞鶴市を含む全国5自治体が採択。

区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
国支出金	10,570	子ども・子育て支援事業費補助金（10/10）	7
府支出金	-		
地方債	-		
その他	-		
一般財源	-		

担当課	子育て応援	課	課長名	野田 諭史	内線番号	6250
-----	-------	---	-----	-------	------	------

令和8年度 主な事務事業調

No. 3

事業名	森林整備推進事業費補助金				
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目 林業振興費
事業費	2,500 千円			予算書	8 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>里山林の荒廃が進行する一方で、整備を担う地域の高齢化や人口減少により、里山整備活動が困難となりつつある。</p> <p>そのような中、複数団体での共同利用を条件として森林整備用機械の購入を支援し、作業の省力化・効率化を図るとともに、団体間の連携強化により地域コミュニティを活性化し、担い手不足の解消を目指す。</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 対象：自治会等 補助率：定額（上限2,500千円） 補助内容：複数の団体で使用する森林整備用機械の購入に対する補助（令和8年度は野村寺自治会を対象とし、竹や木を粉砕するチップパー機の購入を補助） <p>※ 令和7年度までは豊かな森を育てる府民税交付金を財源として機械購入を支援していたが、令和8年度の府民税制度改正に伴い、用途が「防災」と「木材利用」に限定された。</p> <p>地域での森林整備を支援するため、令和8年度は一般財団法人自治総合センターの助成制度により財源を確保し、複数の団体で共同利用する機械購入に対して支援を行うもの。</p>

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	2,500	雑入（一般財団法人自治総合センター コミュニティ助成事業助成金）	7
	一般財源	-		

担当課	農林	課	課長名	濱田 鉄也	内線番号	1240
-----	----	---	-----	-------	------	------

事業名	体育施設整備事業費（再生可能エネルギー設備等導入分）				
費目	款	教育費	項	保健体育費	目 保健体育総務費
事業費	20,000 千円			予算書	8 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	<p>スポーツ施設の改修等を計画的に行い、利用者の安全・安心の確保や機能強化を図ることで市民のスポーツ活動や大会開催等を促し、生涯スポーツの推進やスポーツイベントの開催・誘致等による地域活性化など、「スポーツを活かした元気なまちづくり」を推進する。</p> <p>このたび本格的な人工芝グラウンドを有する伊佐津川運動公園において、スポーツに親しめる環境づくりと防災拠点としての機能を強化するため、再生可能エネルギーを活用したナイター設備の導入に向けた検討を進める。</p>
	<p>■対象施設 伊佐津川運動公園（字上安久、円満寺地内）</p> <p>■事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナイター設備導入可能性調査 施設の特性に最適な再エネ設備の選定（太陽光・蓄電池） 防災拠点として最適な設備及び設置箇所の検討 ・実施設計

財源内訳	区分	金額（千円）	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	19,569	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金（定額）	7
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	431		

担当課	スポーツ振興 課	課長名	堂田 久美	内線番号	1235
-----	----------	-----	-------	------	------